

2011年3月期決算説明会

2011年5月27日

電気興業株式会社

決算ハイライト

連結売上高

- 高周波部門の売上高は回復も、移動通信アンテナの価格競争激化やデジタル中継局の新設工事が3Qでほぼ終了し電気通信部門が減収となったため、連結売上高は前期比8.5%の減収
- 期初予想に対しては若干の増収を確保



連結売上高
447億円

前期比
41億円減収
(8.5%減)

電気通信
368億円

前期比
60億円減収
(14.0%減)

高周波
78億円

前期比
18億円増収
(30.9%増)

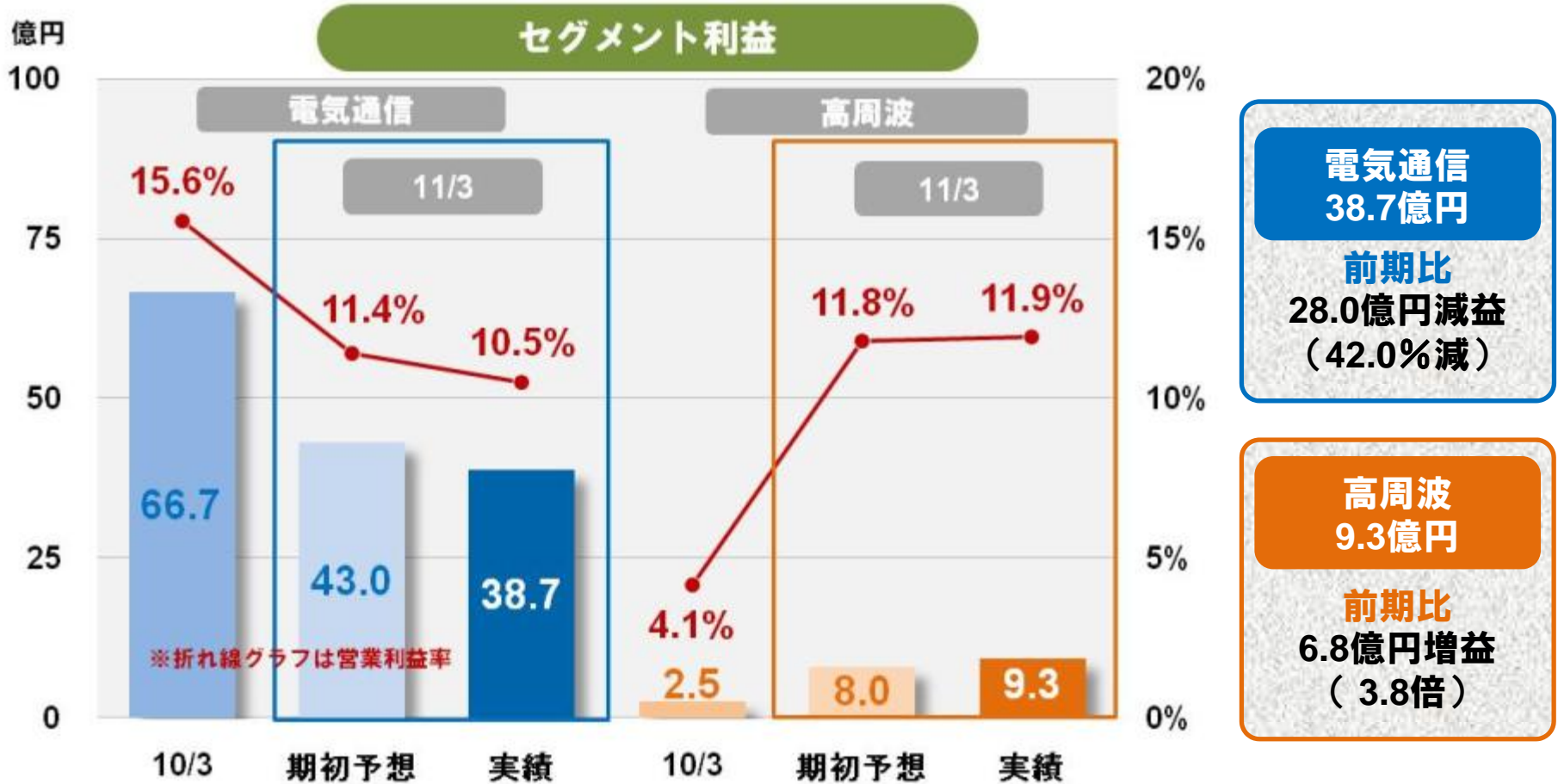
連結営業利益

■ 移動通信、放送の減収を主因として前期比44.5%の減益、営業利益率は5.7%に



セグメント利益【連結】

- 電気通信のセグメント利益は、铁塔関連子会社やタイの移動通信子会社等の子会社業績の悪化もあり、約4割の減益
- 高周波は増収効果により前期比3.8倍の増益



(注1) 11/3期よりセグメント情報の開示基準が変更になったため、10/3期セグメント利益は新基準ベースに修正した数値を使用

11/3期連結業績の概況

■通期損益計算書【連結】

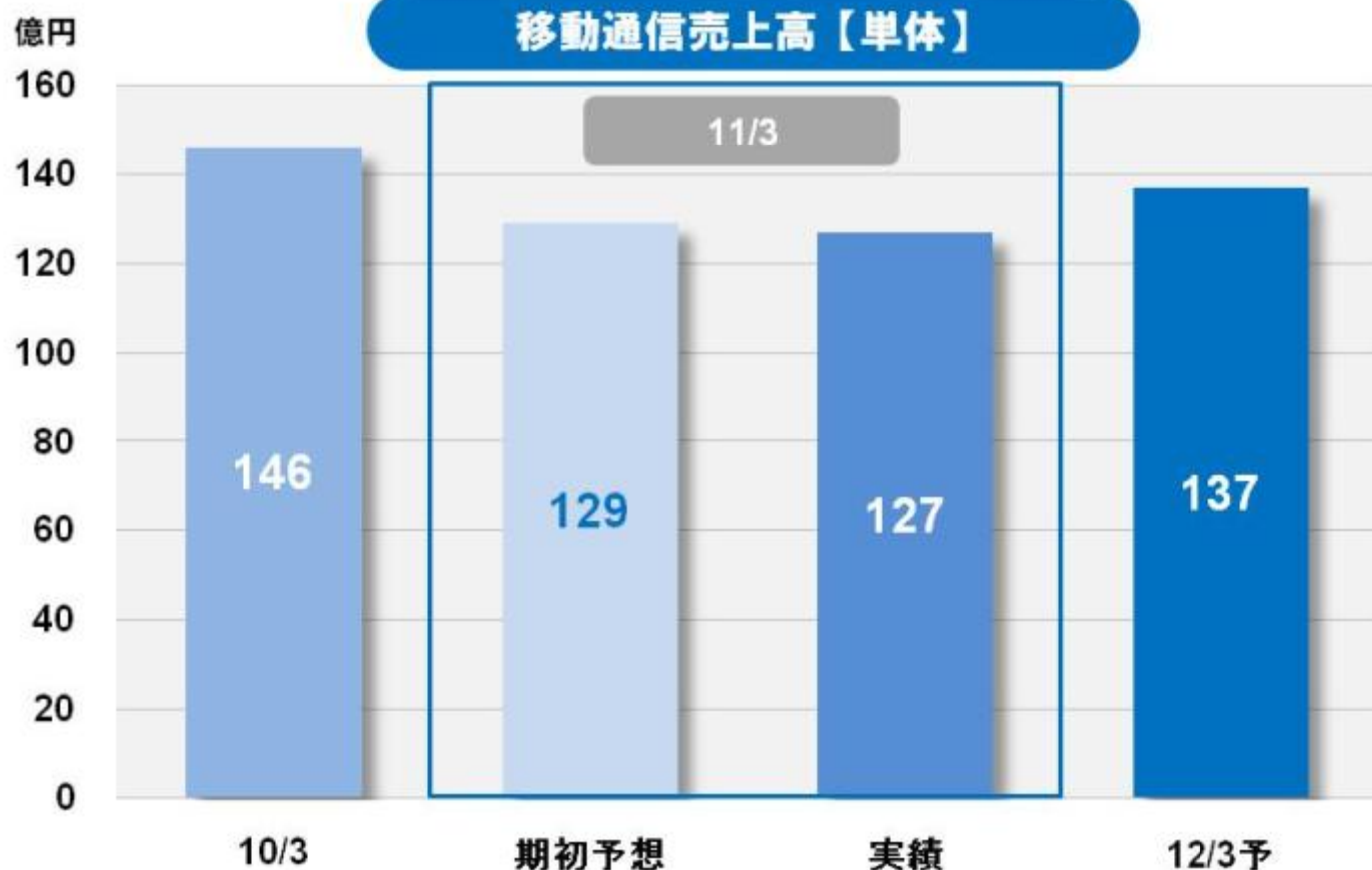
(単位：百万円)

	10/3 実績	11/3		前期比		期初予想比	
		期初予想	実績	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	48,805	44,500	44,667	-4,137	-8.5%	167	0.4%
売上原価	38,581	-	36,723	-1,857	-4.8%	-	-
売上総利益	10,223	-	7,943	-2,279	-22.3%	-	-
販売費及び一般管理費	5,622	-	5,389	-232	-4.1%	-	-
営業利益	4,601	2,800	2,553	-2,047	-44.5%	-246	-8.8%
売上高営業利益率	9.4%	6.3%	5.7%	-	-	-	-
経常利益	4,858	2,950	2,793	-2,064	-42.5%	-156	-5.3%
売上高経常利益率	10.0%	6.6%	6.3%	-	-	-	-
当期純利益	3,066	1,650	1,130	-1,935	-63.1%	-519	-31.5%
ROE	8.6%	4.5%	3.1%	-	-	-	-

単体セグメントの状況

移動通信売上高【単体】

- 前期より第3世代とLTEとの需要のはざかい期が継続しており、基地局需要は引き続き低水準
- 需要低迷によりアンテナ製品価格の競争が激化しており前期は13.0%の減収
- 今期は後半からLTE需要の本格化が期待されるため8.0%増収の予想



11/3期実績
127億円

前期比
18.9億円減収
(13.0%減)

12/3期予想
137億円

前期比
10.0億円増収
(8.0%増)

放送売上高【単体】

- 前期はデジタル放送設備の新設工事が3Qでほぼ終了したことから21.1%の減収となったものの、期初予想に対しては約20億円上乘せ
- 今期はマルチメディア放送等の新たな需要を取り込み80億円の売上確保を目指す



11/3期実績
126億円

前期比
33.7億円減収
(21.1%減)

12/3期予想
80億円

前期比
45.9億円減収
(36.4%減)

高周波売上高【単体】

- 自動車関連業界の設備投資の抑制は継続しているものの、海外向けの誘導加熱装置の需要が回復傾向にあることから、前期比31.5%増収
- 今期の売上高は前期を若干下回る50億円となる見通し



11/3期実績
53億円

前期比
12.6億円増収
(31.5%増)

12/3期予想
50億円

前期比
2.8億円減収
(5.3%減)

主要3事業以外のセグメント

- 固定無線は期初予想には達しなかったものの前期比3割の増収、今期は更なる拡大を目指す
- 有線放送およびその他も増収を確保、今期も増収となる見通し

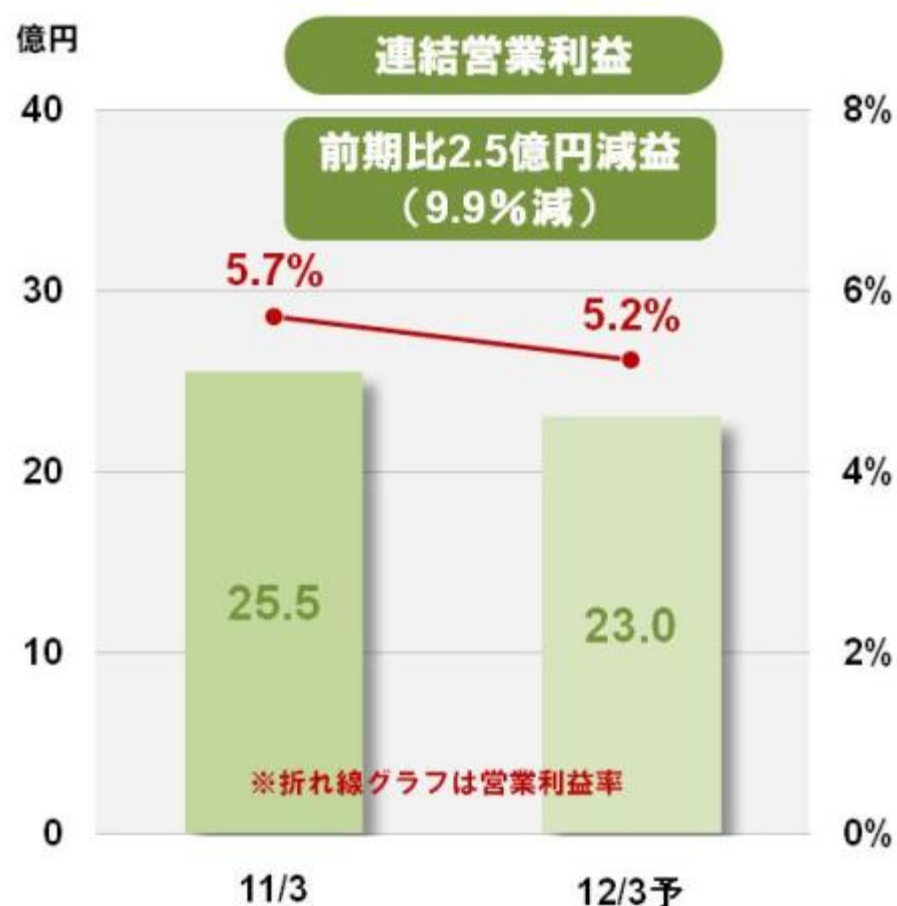
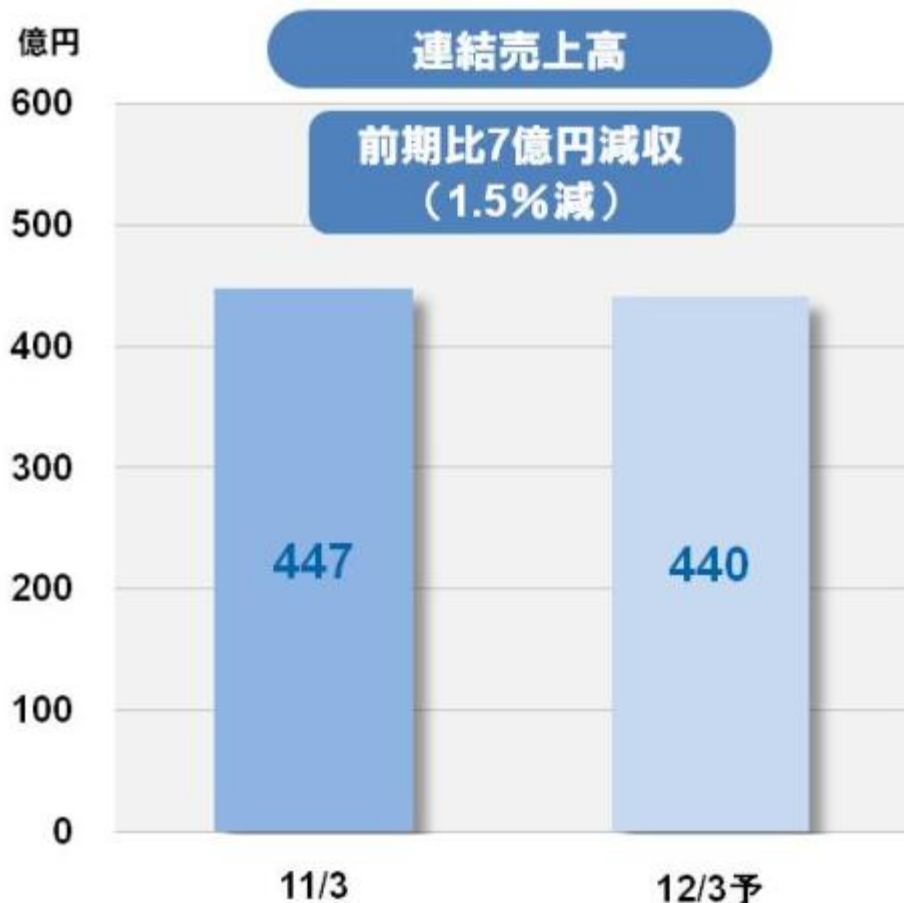
主要3事業以外の売上高【単体】



今期業績の見通し

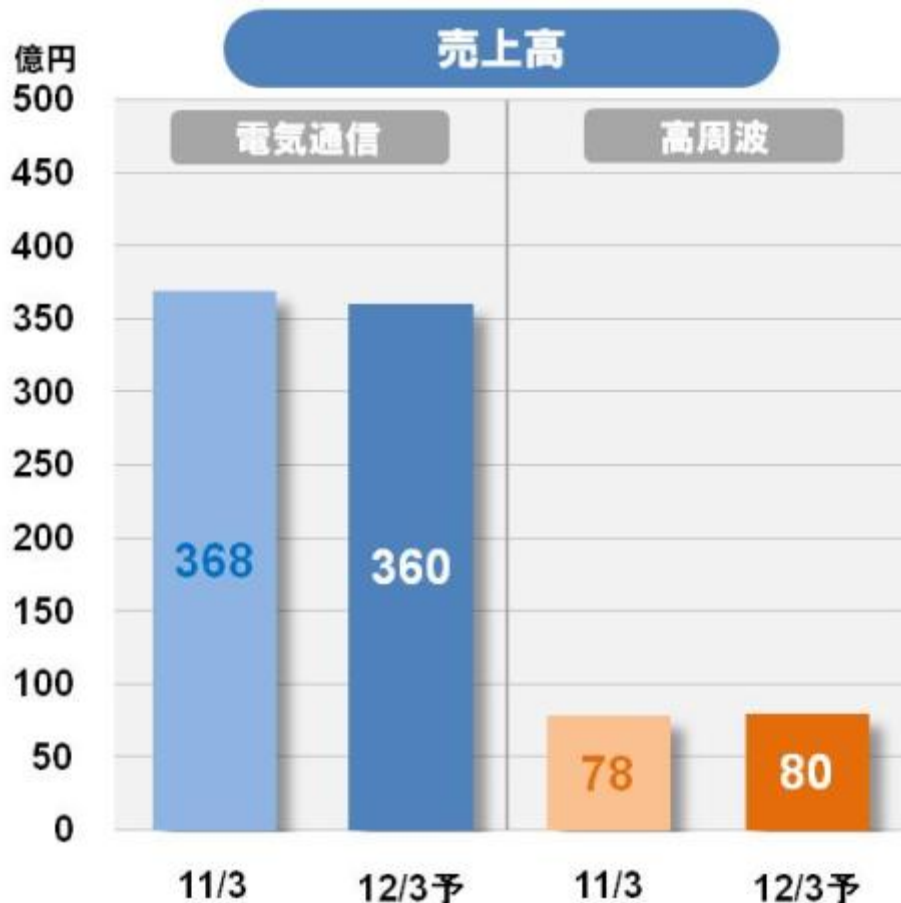
連結売上高・営業利益

- 移动通信の回復と固定無線売上の拡大を見込むものの、放送売上の減少が大きく影響するため、連結売上高は前期比1.5%の減収となる見通し
- 連結営業利益は9.9%減の23.0 億円を予想



セグメント業績【連結】

- セグメント別では電気通信が減収、高周波は増収となる見通し
- セグメント利益は両部門とも減益となるものの2桁台の利益率は確保する見通し



12/3期連結業績見通しの概況

(単位：百万円)

	11/3 実績	12/3 予想	前期比	
			増減額	増減率
売上高	44,667	44,000	-667	-1.5%
電気通信	36,847	36,000	-847	-2.3%
高周波	7,798	8,000	201	2.6%
営業利益	2,553	2,300	-253	-9.9%
売上高営業利益率	5.7%	5.2%	-	-
電気通信	3,869	3,600	-269	-7.0%
売上高営業利益率	10.5%	10.0%	-	-
高周波	928	900	-28	-3.1%
売上高営業利益率	11.9%	11.3%	-	-
一般管理費他	-2,244	-2,200	44	-2.0%
経常利益	2,793	2,500	-293	-10.5%
売上高経常利益率	6.3%	5.7%	-	-
当期純利益	1,130	1,300	169	15.0%
ROE	3.1%	3.6%	-	-

(注1) その他セグメントの売上高は省略

株主還元

- 3月7日から4月1日にかけて発行済株式数の1.7%に相当する120万株(約5億円)の自己株式の取得を実施、配当と合わせて連結当期純利益の8割を還元
- 今期の配当に関しては、前期に引き続き連結ベースでの配当性向40%を目途に配当、現時点では期末配当として1株当たり7円を予定

株主還元策の考え方

- 連結ベースでの配当性向40%を目途に配当
 - ーただし、当面1株当たり年間配当5円を下限として設定
- 株主還元策および資本効率の改善策として、自己株式の取得も選択肢として視野に入れ検討

前期(11/3期)の株主還元

- 3月7日～4月1日にかけて自己株式の取得を実施
 - ー発行済株式数の1.7%に相当する120万株、約5億円を買い付け
- 配当に関しては、連結ベースの配当性向40%を目途に1株当たり年間配当6円を予定

自己株式の取得と配当を合わせて、連結当期純利益の8割を還元

今期(12/3期)の株主還元

- 現時点では、期末配当として1株当たり7円とする予定

業績予想に関する注意事項

この資料の数値のうち、過去の事実以外の計画、方針、その他の記載にかかわるものは、将来の業績にかかる予想値であり、それらはいずれも、現時点において当社が把握している情報に基づく経営上の想定や見解を基礎に算出されたものです。従いまして、かかる予想値は、リスクや不確定要因を含むものであって、現実の業績は諸々の要因により、かかる予想値と異なってくる可能性があります。かかる潜在的リスクや不確定要因としましては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行などの変更等が含まれます。